|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **課題となる領域等** | **年間指導計画** | **単元指導計画** |  | **一単位時間の授業計画**  （学習集団を意識した毎日の授業づくり） |
| 第一学年 | 【領域：聞くこと、書くこと】  （観点：知識・技能）  既習事項との関連  ・身近で簡単な事柄について，具体的な情報を聞き取り，その内容を理解している。（場所を表す表現）  ・時間割についての具体的な情報を聞き取り，その内容を理解している。  ・音声を聞きながら英文を読み，その意味を理解している。（場所と楽しめること） | ① Unit 3  Club Activities  ・いつ･どこなのかをたずねたり、数をたずねる。(６月)  ② Unit 5  A Japanese Summer Festival  ・ものの場所や人の位置を、説明する。(８月)  ③ Unit 9  Think Globally, Act locally  ・したいことや、する必要があることを説明する｡(11月) | ・学力差の生じやすい語彙や文法知識の習得について、個に応じた課題設定による自学自習の指導を充実させ、つまずきの解消を図る。  ・場所を表す前置詞の形・意味・用法を理解し、どこにあるか・どこにいるかについて，簡単な語句や文を用いて即興で伝え合う場面を設定する。  ・国際協力のスピーチを介して、したいことやしようとしていることを聞き取ったり，質問したりする場面を設定する。さらに基本的な語彙や、文法知識の定着を促す。 | ・語形･語法の問題において正当が得られるよう、日ごろから練習を充実させる。一般動詞の現在分詞への語形変化のパターンを何回も口頭練習し、定着させていく。さらに基本的な語彙の定着のために、書取り練習をする。  ・目標文の型（ルール）を定着させるドリルに充分に取り組んだ後、自己表現に発展させる場面を必ず作る。  ・教科書の本文の内容読解を確認する英問英答では、できるだけフルセンテンスで答え、さらに自分の考えや感想を既習の知識を活用して、付け加えるよう促す。  ・生徒同士が言語活動の中で、教え合い、学び合う場面を設定する。 |
| 第二学年 | 【領域：書くこと】  （観点：思考力・判断力・表現力）  既習事項との関連  ・自分の経験や周りとの関係性に配慮しながら、状況を理解し、適切に表現する。  ・さまざまな社会における問題を材料に自分の考えを表現する。 | ① Stage Activity 1  ・自分に合うと思う仕事について書くことができる（8月）  ② Unit 5 Let’s Write 2  ・お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる（10月）  ③すべてのUnitのRound 3 | ・1年生からの表現を復習しつまずきを解消しながら、どのような職業が自分に向いているかを考えさせ、適切な表現を学ばせる。  ・相手に感謝を伝えるために、思いなどを整理させ、気持ちを表現する表現を学ばせ、伝えることを促す。  ・各パラグラフの内容・設定を理解させ、質問に関して理解し、正しい文法を使用して表現させることを意識させる。より多くの表現の定着を目指す。 | ・目標文の型を定着させるためにワークなどを定期的に取り組んだ後、自己表現に発展させる場面を作る。  ・生徒が言語活動の中で、教え合い、学び合う場面を設定する。  ・教科書の本文の内容読解を確認する英問英答では、単語ではなく、英文で答え、さらに自分の考えや感想を付け加えるよう促す。  ・ペアなどを組ませ、協同学習をとおして英語表現への苦手意識を軽減し、さらに自己表現への意欲を高めさせる。  ・さまざまな英文を読む機会と英文を読んで自分の意見を自由に述べる機会をもうけるよう努める。 |
| 第三学年 | 【領域：聞くこと】  （観点：思考力・判断力・表現力）  既習事項との関連  ・身近な事柄について、具体的な情報や概要を聞き取り、その内容を理解している。  ・デイスカッション等を聞き、自分の意見を考え、表現するのに必要な情報を理解することができる。 | ①Let’s Listen2 講演（６月）  ・「話し手の伝えたい内容を理解できる。」  ②Let’s Listen3 ラジオの災害情報（９月）  ・「災害情報を聞き、どう行動すべきかを理解できる」  ③Let’s Listen5 （１１月）  世界で働く人へのインタビユー  ・「人物の経歴を聞いて、概要を理解することができる」  ④Let’s Listen6 （１月）  ・「スピーチを聞いて、友だちの中学校生活の思い出の概要を理解することができる。」 | ・導入時、既習の語句や語法を用いながら、  聞き取るための素地を視覚化して、「場面・状況・目的」を正しく理解させる。  ・特殊な場面や状況の場合や、聞き取る英文の量が多い際、以下のような目的に応じた聞き方を学ばせる。「必要な情報を聞き取る」「概要を把握する」「要点をとらえる」  ・ペアーワークやグループワークの協同学習を通して、得た知識や情報を整理する時間を確保し、自己表現力を高め合い、個々の深い学びにもつなげる。  ・Let’s Listenの内容は、各単元の既習内容や表現が活かされている。単元で得た知識や情報を四技能の統合的学習で更に充実させる。  ・多様化した場面設定のチャット等の会話活動で、即興力（質疑応答）を高めさせる。 | ◎「聞くこと」は、単に多量の英文を聞くことで向上するのではなく、語彙力や文法の定着と並行して、さまざまな場面、目的や状況に応じて、それらをどのように使えるかということも表裏一体で重要となる。  ・語彙力の定着は理解力や表現力において必須であるが、その学びは１問１答ではなく、各単語の発音や綴り、意味の関連性を意識させる学習法を習得させる。聞こえてくる音と自分の発音の差をいかに小さくできるかは聞き取る力の向上と比例する。  ・本文はもちろん初見のまとまりのある英文の音読練習を帯化し、内容を理解する音読法、英語の思考回路を鍛える練習を行う。 |

**授業改善プラン**

４

**３**

２

１

**第八中学校　英語科　授業改善プラン**